

継続事業評価調書

【農道整備事業】

農林水産部農林水産局農地整備課

投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 二位 孝夫 (課長兼主任係長 相埜 利率)	内線	4003 (4014)																										
事業種目	農道整備	事業採択年度	H5		H19末時点	H14末時点																									
事業名	一般農道整備事業	着工年度	H5	総事業費	約19億円	約21億円																									
		再評価年度	H14	内用地補償費	約1.02億円	約1.56億円																									
事業区間	佐のう地区			完成予定年度	H22	H22																									
所在地	朝来市佐囊～八代			進捗率 (内用補進捗率)	74%(100%)	35%(61%)																									
				残事業費	約5億円																										
事業の目的			事業内容																												
<p>現況の農道を円滑に通行できるよう改良し、農産物等の輸送費節減を図る。 家畜糞尿等を活用した堆肥の流通を促進し、安全で安心な付加価値の高い環境創造型農業を推進する。 さのう高原の体験実習館等を中心に都市農村交流を拡大する。</p> <p>以上により、総合的な地域活性化を図る。</p>			<p>農道新設 延長 5,663m 受益面積 399ha</p> <p>一般農道整備事業（過疎基幹）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>延長</td> <td>全幅</td> <td>工期</td> <td>進捗率</td> </tr> <tr> <td>1期地区</td> <td>1,855m</td> <td>7.0m</td> <td>H5～H13</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>2期地区</td> <td>1,590m</td> <td>7.0m</td> <td>H13～H16</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>工事費の負担割合（国：5/10、県：5/10）</p> <p>一般農道整備事業</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>延長</td> <td>全幅</td> <td>工期</td> <td>進捗率</td> </tr> <tr> <td>3期地区</td> <td>2,218m</td> <td>5.0m</td> <td>H17～H22</td> <td>32.8%</td> </tr> </table> <p>工事費の負担割合（国：5/10、県：2.5/10、市：2.5/10）</p>					延長	全幅	工期	進捗率	1期地区	1,855m	7.0m	H5～H13	100.0%	2期地区	1,590m	7.0m	H13～H16	100.0%		延長	全幅	工期	進捗率	3期地区	2,218m	5.0m	H17～H22	32.8%
	延長	全幅	工期	進捗率																											
1期地区	1,855m	7.0m	H5～H13	100.0%																											
2期地区	1,590m	7.0m	H13～H16	100.0%																											
	延長	全幅	工期	進捗率																											
3期地区	2,218m	5.0m	H17～H22	32.8%																											
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当地域はH17年度より過疎地域自立促進特別措置法の指定外（県、市負担区分の変更） ・ 3期地区について、前回再評価に基づき道路幅員の見直し（7.0→5.0m）を行うとともに経済的なルートに変更 ・ H17年度に朝来市土づくりセンター（家畜糞尿の堆肥化施設）が完成し供用開始 																														
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1期地区及び2期地区はH16年度までに完了し、供用中（3,445m）。 ・ 3期地区はH18年度に用地買収が完了。H19年度より工事着手し、H22年度の完成を目指している（前回再評価時の計画通り）。 																														
評価視点	評価結果の説明																														
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本農道は茶園等への通作、加工施設への農産物輸送、堆肥化施設への家畜糞尿等輸送、都市農村交流施設へのアクセスとして必要である。 ・ 未施工区間の完成により、円滑な通行が可能となり、輸送時間の軽減が図られるため、引き続き本農道の整備が必要である。 																														
(2)有効性・効率性	費用便益比 B/C=1.11（便益額B=2,173百万円、総費用C=1,941百万円）であり、事業としての効果は期待できる。																														
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員縮小等により農地・山林の潰れ地を減らし、環境への負荷を軽減している。 ・ 在来種による法面緑化を行い、周辺植生の再生を図る。 																														
(4)優先性	3期地区は、朝来市土づくりセンターで扱う堆肥等の約4割を輸送するルートであること、朝来I.Cと都市農村交流施設を結ぶ主要なルートであることから早期の開通が望まれる。																														
再評価の結果	継続	左の理由	用地買収を全て完了し、前回再評価時のとおりH22年度に完了する予定であることから、継続して事業を実施することは妥当である。																												

事業進捗状況

概要図（継続：再評価〔第2回〕）

事業名	一般農道整備事業	路線・河川名	佐のう地区								
<div style="text-align: center;"> <p>一般農道整備事業 佐のう地区 平面図</p> <p>S = 1 / 90,000</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: black;"></td> <td>H16まで</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: yellow;"></td> <td>H17～19</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: red;"></td> <td>H20以降</td> </tr> </tbody> </table> </div>				凡 例			H16まで		H17～19		H20以降
凡 例											
	H16まで										
	H17～19										
	H20以降										
		事業進捗状況・予定	整備効果								
全体	<p>H5～22年度【事業費＝約19億円】</p> <p>農道新設 延長 5,663m 受益面積 399ha</p> <p>全幅 7.0m 車道幅員 2.75m×2車線（1期、2期）</p> <p>全幅 5.0m 車道幅員 4.00m 1車線（3期）</p>	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>									
前回再評価まで（実績）	<p>H5～14年度【事業費＝約8億円】</p> <p>農道新設 延長 2,659m（1期 1,855m、2期 804m）</p> <p>2期地区までの用地買収完了</p>		供用開始率：47％								
過去5年間（実績）	<p>H15～19年度【事業費＝約6億円】</p> <p>農道新設 延長 1,286m（2期 786m、3期 500m）</p> <p>全区間の用地買収完了（計画どおり）</p>	供用開始率：70％									
今後3年間（予定）	<p>H20～22年度【事業費＝約5億円】</p> <p>農道新設 延長 1,718m（3期）</p> <p>計画どおりH22年度に完成予定</p>	農産物等の円滑な輸送 家畜糞尿の適正処理 有機農業の推進 都市農村交流の推進									

一般農道整備事業 佐のう地区 計画一般図

縮尺 1 / 25,000

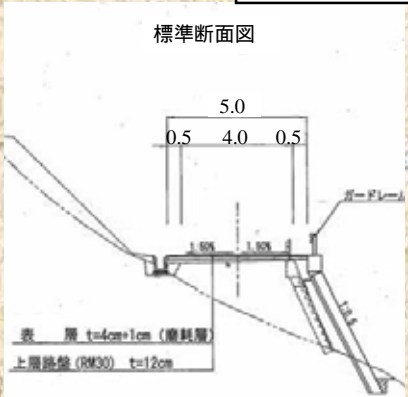


朝来市



朝来市役所 (朝来支所)

J A



3期地区(継続)
H17~H22
L=2218m

2期地区(完了)
H13~H16
L=1590m

1期地区(完了)
H5~H13
L=1855m

佐のう地区 L=5663m

播但道 朝来IC

R312

R429



凡例	
	H16まで
	H17~19
	H20以降

朝来市

継続事業

当初計画及び実施工程

一般農道整備事業 佐のう地区 事業スケジュール

	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
設計	=====								=====					=====					
用地補償			=====						=====					=====					
道路工			=====						=====					=====					
舗装工 法面工等						=====						=====							
備考	1 期									2 期						3 期			
	-----									-----						-----			
	-----									-----						-----			

=====	:H14時点
=====	:H19時点

B/C根拠説明資料

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
農道整備	農業経営向上便益 農産物等の輸送等にかかる時間短縮による便益	整備無し of 走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: ((通作時間 + 輸送時間) × 時間当たり経費)
	生活環境整備便益 一般交通にかかる時間短縮による便益	整備無し of 走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: ((通作時間 + 輸送時間) × 時間当たり経費)
	その他便益 緑化等の整備により地域と調和のとれた景観が創出できる効果など	緑化や景観配慮等にかかる建設事業費相当額

費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B/C
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
農道整備	一般農道整備事業	農業経営向上便益	1,293	1,941	1,941	/	1.11
		生活環境整備便益	125				
		その他便益	755				
		計	2,173				